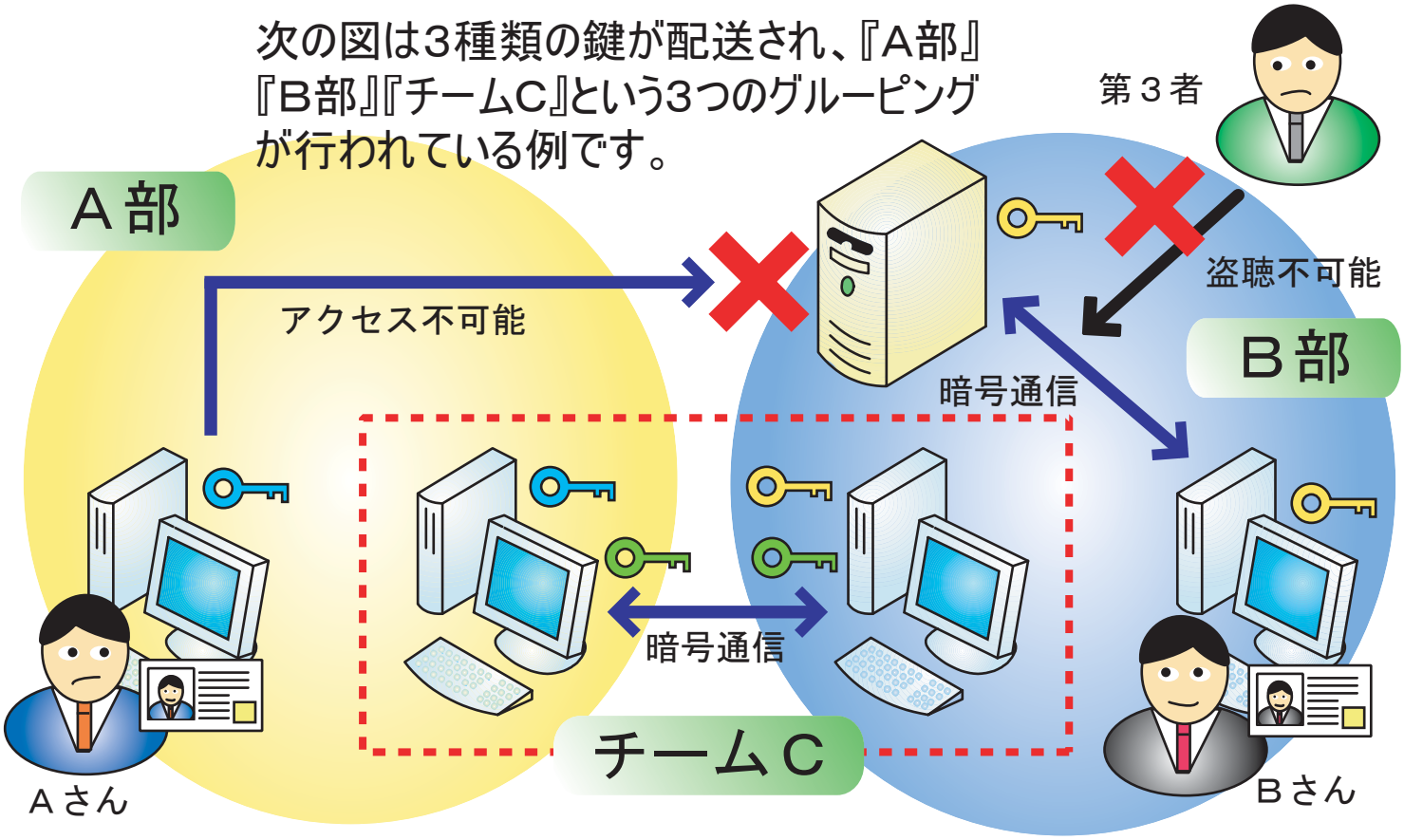
イントラネット内に安全なネットワークを構築する研究を行っています

イントラネットのセキュリティは外部からの攻撃に対しては十分対策がとられていますが、内部からの攻撃に対してはあまり対策がなされていません。その結果、内部犯罪が増加しています。

そこで渡邊研究室は次のようなシステムを研究しています。

- **グルーピングを確認する事前交渉プロトコルの研究**
  暗号鍵によるグルーピングの定義を確認します
- **確実で安全な暗号鍵配送方式の研究**
  認証されたユーザに暗号鍵を配送します
- **高速で安全な暗号通信方式の研究**
  グループ内通信の暗号化による第3者の盗聴を防止します
- **生体認証を用いた個人認証方式の研究**
  ICカードと指紋を利用した個人認証を行います

第3者による通信グループへの進入防止と盗聴防止
ユーザが移動してもこれまでのグルーピングの関係を保持

次の図は3種類の鍵が配送され、『A部』『B部』『チームC』という3つのグルーピングが行われている例です。